

彩の国エコアップ宣言

- 環境負荷低減計画 -

平成21年12月28日

1 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

フリガナ 小川工業株式会社
会社名 小川工業株式会社
代表者名 小川 貢三郎

(2) 所在地

住所 〒361-0022
埼玉県行田市桜町1-5-16

(3) 環境負荷低減主任者及びその連絡先

環境負荷低減主任者 安全品環部長 岡田 正
連絡先 TEL 048-554-4111
FAX 048-553-3535

(4) 事業の内容

日本標準産業分類(細分類)	名称	総合工事業	番号	0	6	0	0
---------------	----	-------	----	---	---	---	---

(5) 事業の規模

- ・資本金(全社) 1億1444万円
- ・売上高 59億3600万円(平成20年度 2008.7~2009.6)
- ・主な商品 土木・建築工事の設計施工、住宅販売、太陽光発電システムの販売
- ・従業員数 123人

(6) その他

- ・前年度の燃料等使用量の原油換算合計量 72 k (消費電力換算のみ)
- ・当社の事業年度は7月~翌6月となるので、すべて7月~翌6月でカウントする。

2 環境方針

小川工業株式会社は、次世代に誇れる豊かな地域環境を築き、引継ぐために建設事業をとおして、環境に配慮した企業活動を推進する。

- (1) 環境重視社会に対応し環境の保全に取り組む。
 - ・省エネルギー、省資源、リサイクルに取り組み環境負荷の低減に努める。
 - ・環境配慮設計、環境改善事業を推進する。
- (2) 環境汚染を予防するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
- (3) 適用される法的要求事項及びその他の要求事項を順守する。
- (4) 環境目的及び目標を定め、その達成に努めるとともに年に一度見直しを行う。
- (5) 環境方針は当社で働くすべての人に周知するとともに、外部からの要望があればこれを開示する

2005年7月1日
小川工業株式会社
代表取締役 小川 貢三郎

3 環境負荷の現状

(1) 環境保全の取組のチェック(『取組チェック』)の結果

項目	CO ₂ ・NO _x	廃棄物	大気・水質	輸送	化学物質	節水・水
達成率	33.3%	52.6%		60.0%		0.0%

項目	製品開発	建築・開発	グリーン購入	環境教育	エコビジネス	その他
達成率		71.4%	0.0%	78.3%		60.0%

(2) 環境への負荷のチェック(『負荷チェック』)の結果

必須項目

項目		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
CO ₂ 総排出量	t-CO ₂ /年	110	113	97	96	146
原単位(床面積当たり)	t-CO ₂ /m ²	0.0595	0.0610	0.0527	0.0521	0.0764
項目		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成 年度	平成 年度
CO ₂ 総排出量	t-CO ₂ /年	142	146	131		
原単位(床面積当たり)	t-CO ₂ /m ²	0.0745	0.0763	0.0686		
項目		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
廃棄物処分量	t/年				2,674	3,077
原単位(出荷額当たり)	t/百万円				0.2400	0.3806
項目		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成 年度	平成 年度
廃棄物処分量	t/年	2,215	1,353	615		
原単位(出荷額当たり)	t/百万円	0.3014	0.1868	0.1037		

廃棄物処分量は、廃棄物等発生量から減量化量と再資源化量を差し引いた値を記入してください。
 廃棄物処分量について「自己排出分」と「受託処理分」がある場合は、両者の合計値を記入してください。

平成17年度から自動車(社有車)燃料使用量、都市ガス使用量、及び電力使用量1部門追加

その他の項目(任意)

項目		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
用紙使用量	枚/年	934,047	941,798	919,198	713,239	651,378
項目		平成18年度	平成19年度	平成20年度		
用紙使用量	枚/年	841,500	888,990	(763,500)	721,975	

平成19年度は2部門追加。前年までと同じ部門でのカウントは()内参照
 平成18年度よりカウント方法を変更(コピーのカウント数 購入新品用紙)

4 環境への負荷の低減目標

- (1) 使用電力削減目標
使用する電力を平成19年度を基準として、1.5%削減することを本年度の目標とする。
基準値 236,357kWh 目標値 232,812kWh(基準値 - 1.5%)
- (2) 通勤、業務使用車両の平均燃費向上目標
本年度から通勤、業務使用車両の燃費を測定し、本年7月～10月までの平均燃費から基準値を推定し、その基準燃費から7%向上を本年度の目標とする。
基準値 10.27km/ 目標値 10.99km/ (燃費 + 7%)
- (3) 廃棄物削減目標
産業廃棄物は工事現場から排出される。工事の内容、場所、請負形態などから、産業廃棄物の排出量に大きな開きがあるため、一定の目標を定めることが難しい。したがって、本社より排出される一般廃棄物の目標値を定めるものとする。
基準値 平成19年度 3.87t
長期目標 平成22年度 3.3t(基準値 - 15%)
本年度目標 平成21年度 3.4t(基準値 - 12%)
- (4) 用紙使用量削減目標
用紙使用量の削減は以前より取り組んでおり、年々部門を広げて現在の体制になった。また、用紙の使用枚数のカウントのやり方も平成18年度を境に大きく変わった。したがって、目標は平成18年度の使用枚数に、新たに加わった部門の使用量を追加したものを基準とする。
基準値 = 平成18年度 841,500枚 + 追加2部門 130,000枚 = 971,500枚
長期目標 平成22年度 931,000枚(基準値 - 4.2%)
本年度目標 平成21年度 950,900枚(基準値 - 2.1%)

5 具体的な取組の内容

- (1) 使用電力削減の取組
- ・フロアの照明は必要箇所のみ使用し、給湯室・トイレ・応接室・会議室・コピー室の照明は使用時のみ点灯させる。
 - ・エアコンは冷房時28℃、暖房時20℃の設定温度とする。
 - ・毎年6月から9月を夏のスタイル実践期間とし、事務室では軽装とする等の、省エネに努めるものとする。
 - ・各フロアで従事するものに節電方法を周知し徹底させるため、各スイッチに節電を促すシールを貼るなどの節電手段を講じる。
 - ・電気設備・機器の新規設置及び交換が生じた場合は省エネタイプのものとする。
- (2) 通勤、業務使用車両の燃費向上の取組
- ・品質環境委員会にてエコドライブ手順書を配布し、周知徹底を図る。
 - ・安全品環部の現場パトロールにて周知徹底を図る。
- (3) 廃棄物削減の取組
- ・一般廃棄物を有価物(用紙、雑誌、新聞紙、ダンボール、アルミ缶、スチール缶)と、廃棄物に分別することを徹底し、排出量の削減を図る。
- (4) 用紙使用量削減の取組
- ・社内の書類は両面コピー及び裏紙使用を原則とし、新品用紙の削減を図る。
 - ・コピー機、プリンターの故障、紙詰まりなどでの用紙の消費を抑えるため、定期又は適宜点検を行う。

6 公表の方法

- ・場所 小川工業(株) 本社 1F 受付カウンターにて閲覧できます
また、当社ホームページ上に掲載しております
www.ogawa-k.co.jp
- ・日時 平日 8:00～17:00
- ・連絡先 住所 埼玉県行田市桜町1-5-16
電話 048-554-4111 総務部